

目標達成計画

作成日: 平成 23年 6月 21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画を職員が目にする機会はあるが、目標を共有し、目標達成のための具体的なケア内容等を職員間で話し合う機会が少ない。またモニタリングや評価に職員が直接参加することも少ない。	介護計画をもっと身近なものとし、職員間で目標達成するためのケアを話し合い、共有し、モニタリングや評価にも積極的に職員の意見を反映させることで、理念に沿ったケアを目指す。	・介護計画を職員のいつでも手に届くところにおく。 ・目標を達成できるケアであったか、毎月のモニタリングや評価を職員、計画作成担当者、協働で行う。 ・毎月のミーティングや毎日の申し送りの時間等を有効に活用し、ケアの振り返りの機会にする。	6ヶ月
2	23	利用者の重度化があり、言葉から本人の思いや意向を把握することは、難しい状況になってきているが、日々のケアの中の表情や仕草、言葉などから把握し、毎月のミーティングで、情報の共有を行ってはいるが、利用者にもっと深くかわり、隠された力を活かしたり、新たな気づきにつながるような取り組みが出来ていない。	1人ひとりの利用者にもっと深く関わり、これまでの情報を整理したり、職員間で情報を出し合い共有することや、新たな気づきを大切にケアにつなげることで、その人らしい生き方に近づけるようにする。	・各利用者の生活歴や身体状況などの情報を整理、職員間で共有する。 ・アセスメント表の見直し ・週間や月間で、テーマをもち、その利用者に深く関わる機会をつくる。	12ヶ月
3	35	現在、事業所内では、毎月、避難訓練を実施、消防署の立会訓練なども実施できているところではあるが、地域との協力体制がまだ出来ていない。	運営推進会議の今年度の目標にも地域と連携した災害対策を盛り込んでいることから、今年度内に、地域の方の役割を明確にした災害対策マニュアルを作成し、避難訓練を実施する。また事業所として地域の防災のための役割を持てるようにする。	・地域の社会資源、近所の方の協力の有無などの確認 ・運営推進委員の役割の明確化 ・地元の消防団への協力依頼 ・役割を明確にした災害マニュアル作成 ・地域と連携した避難訓練の実施	24ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。